

1-5

①

<誤った問題・不安だった問題の解説 7 ~ 12 >

3

①

Lucas	How about this pink one?
Amane	The design is nice. but Monika likes yellow.
Lucas	Okay. Let's ask. Excuse me. do you have this skirt in ~~~~~?

ルーカス	このピンクのやつはどゆ?
あまね	このデザインはいいね。でもモニカは黄色が好きなんだ。
ルーカス	分かった。聞いておろ。おまかせのお店(は)このスカート の~~~~~はありますか!

「do you」とあるがこ  
ではお店の従業員と、ウエ  
に話している。しかし、お店のこ  
とについて聞いているので、こ  
は「このお店」となる。

この時の話の中心であるのはスカートで、お店に出ていたのは  
ピンク色でデザインは良かったが、色が黄色の方が良かった。



ルーカスが店員さんにこのスカートの黄色がないか尋ねた。

A. yellow 0

3

②

Lucas	I'm up next!
Darsha	again?
Darsha&Adra	we want to sing, too!
Lucas	Okay. After I ~~~~~ one more.

ルーカス	次はほくの番だよ!
ダーシャ	また?!
ダーシャ&アドラ	私達も歌いたいよ!
ルーカス	分かった。僕がもう1回~~~~~した後ね。

このダーシャとアドラの発言でルーカスが歌っていることが分  
かる。「too」がついて「~も」という意味になるから。) そのため、  
ルーカスは「one more」でもう一度同じことをくり返そうとしてい  
るため、歌おうとしていることが分かる。

A. sing

これは、前に目標にあげた「基礎英語の復習の日常化」をし  
ていたので、この場面のストーリーは大まかに分かっていて、細  
かい文章は覚えておらず不安だった。この3を出した目的が、基礎  
英語をしっかりと聞いているかの確認なのか、しっかりと英語が聞き  
といて理解しているのかという確認なのかは分かりませんが、どちらに  
しても、もう少し細かく基礎英語の確認をしなければいけないな  
と思った。(もしよければ、どのような目的でこれを出すのか教えて  
いただきたいです。) 0  
~~~~~ 考えよう!

4

③ The man orders three things.  
what does he want?

|       |                                              |
|-------|----------------------------------------------|
| Man   | I want a hamburger and french fries, please. |
| Clerk | Large or small french fries?                 |
| Man   | Small, please.                               |
| Clerk | Anything else?                               |
| Man   | Tea.                                         |
| clerk | Hot or iced?                                 |
| Man   | Hot please. That's all                       |

この男の人は3つのものを頼みます。  
彼は何が欲いてしょう?

|     |                      |
|-----|----------------------|
| 男の人 | 私はハンバーガーとポテトが欲しいです。  |
| 店員  | ポテトは大きいのと小さいのどちらですか? |
| 男の人 | 小さいのでお願いします。         |
| 店員  | 他に何か欲しいものはありますか?     |
| 男の人 | 紅茶です。(紅茶が欲しいです。)     |
| 店員  | 温かいものと冷たいものをどちらですか?  |
| 男の人 | 温かいのでお願いします。これで全てです。 |

質問と所定の  
時、「want」と  
「what」を聞いて  
ほしい理解  
すること大切!  
質問の意味をす  
ばやく的確に理  
解することを大切  
なのは、  
「かな」を感じた  
誤答: イ、カ、コ

A. ハンバーガー、フライドポテト(S)、紅茶 (イ、オ、コ)

7

① 授業の最初の場面です。

Q {  
ア Who is absent today?  
イ What else do you see?  
ウ Who else is absent?

↓

Q {  
ア 今日は誰が欠席ですか?  
イ あなたには他に何か見えますか?  
ウ 他の欠席者は誰ですか?

A. No one else is absent.  
(欠席者は他には1人もいません。)

「else(他)」ということからア=サーで出ているので、アはちがう。  
また、「absent(欠席)」といっているので、イもちがう。

この2つのキーワード(「else」「absent」)のどちらかが入っている  
ウが正解である。

A. ウ

これはしっかりと質問に対する答えがわかっているのに、  
アを覚えてしまった。たしかに似ているが、答えをしっかりと  
日本語に直すことをしていれば、しっかりととれていた問題だっ  
たので、ここからは放送が始まる前にしっかりと答え(書いて  
ある英語の文)を日本語に直して聞きたいと思った。

誤答: ア 0

9

②

<スピーチ>

Hi. I'm John. I'm sixteen years old.  
 I'm a high school student. I'm from Sydney, Australia, but I live in London with my family now.  
 I have a father, a mother and an big sister in my family.  
 My father is a doctor, and my mother is a math teacher.  
 My sister is twenty-three years old and she works library.  
 We have two dogs, Creamy and Sandy. They are twins.  
 I like our dogs and they like me, too. Thank you.

<質問>

- ① Where does John live now?  
 ↳ 今住んでいる場所を聞いてる → 「live」と「now」を探す。→ <sup>答えは...</sup>一般動詞
- ② What does John's mother do?  
 ↳ お母さんが何をしているのかを聞いてる → お母さんのことについて話してる文を探す。→ <sup>答えは</sup>一般動詞
- ③ Are John and his sister twins?  
 ↳ ジョンと姉は双子かどうかを聞いてる → 姉のことについての文を探す。→ <sup>答えは</sup>Be動詞の文 (姉とジョン)

A. ① He lives in London. ← しっかり「live」にsをつける。  
 ② She teaches math. ← スピーチのBe動詞の文をしっかりと直す。  
 ③ No, they aren't. ← Noだけで終わらせず、3文以上で書く。  
代名詞  
に替える。

②を間違えたのですが、多分わからずにまんまとはまったのだろかなと感じた。スピーチがBe動詞であるのに対して、問題文が一般動詞で問われていることに後になって気付いた。まだおぼえていないのだなと思った。誤答。② His mother is math teach

11

④ It's ( ) ( ) lunch. [~の時間]  
 A. time for

これは完全に知識不足だと思った。なぜか「~の周り」という意味の「around」と混っていた。必修テキストで見たときに、分からなくて、答え合わせをした時に「なるほど! 覚えた!」と思った記憶がある。たぶん、その時だけ覚えて、その後も覚えた気になっていたのだと思う。そのまま復習をせずにテストに挑んでしまった。これからは、単語帳などを用意して、分からなかったらすぐに書くようにしようと思った。(←その後に何回も復習する?)  
 誤答. around at 0

①

<前回のテストと比べて> (自己達成率で比べてます。)

前回のテストと比べて、全体的には少し上がった。また、前回、基礎英語の取り組み、復習の向上を目標にあげて、それがしっかりと結果に出て良かったなと思った。

しかし、観点のAの表現が前と比べると格段に下がってしまった。平均点も下がっていたが、もう少し改善しなくてはいけないなと思った。観点のAの表現はCの知識があつた上でとく問題であると思っているため、知識という土台をつくり固めることが大切だと思いが、それを表現につなげるための練習のやり方がイマイチよく分からない。教科書を読んでいき、それをノートに書く練習方法を今は少ないがしている。(もしやり方や良い方法があれば教えてほしいです。)

まえ、知識(C)のところが85%で9割に満たしておらず、まだまだだなと思ったが、今回は95%と9割をとれたので復習が効いているのかなと思いつつ、まだ完璧ではないので、もう少し改善しないといけないなと思った。

<まとめ、感想>

### ① 普段の授業

今回は前回のテストで復習することが大切だと思ったので、しっかりと先生が授業の最後で早ものだけでなく、先生が言葉にしてるものをうつすようにした。先生が話していることを丁寧に聞き取っていくと、最後は早ものよりも重要なことを言っていることが多く、聞いているだけで、すごく勉強になった。また、授業中で手を挙げることはまだ少ない(ない)が、ALTの授業では必死に聞いている(これを書いていると、追いつけないし、単語は分からないので)が分からない単語がでてモスバシが分からないので、調べられないのでどうしようを悩んでいる。

### ② 普段の家庭学習

前回のテスト終わりでかけた目標を元に(基礎英語の復習の向上・教科書のふり返りなど)復習をしっかりとやった。しかし、復習をしても、分かっているつもりでも分かっていないことがあるので、ここからは、必修ドリルとも重ね合いなから、復習していけば、どこがまだ分かっていないのか明確に分かることが出来るし、コツコツとテスト前にやる量(時間)減るのでいいかなと思いました。また、そのままかいてしまうとテスト前に少しこまるかなと思うので、ノートなどにやってみようと思いました。

### ③ 今回のテスト勉強

前回「英語は大丈夫だろ!」という謎の自信からやる時間もやる量も少なかったですが、今回は単語や文法に不安を感じる部分が多く、結構必修テキストなどの単語をやった。またテスト直前にわたされた単語100を何度もといた。初めは85キリキリでこれはマズイと思い、6回程やってみると満点になった。なのでこのような単語を初めて出されると絶対に2〜3問は少なくとも落とす自信があるので、まだ復習が足りていないのだから感じた。また、他教科とのバランスが取れておらず、英語は今はまだ得意分野なので最低限のことですませたつもりだったがもう少し自分で時間を考えていかないといけないと思った。

### ④ 全体を振り返っての感想

テストであせらないためにも、テスト間近の日に記憶することを多々教科(社会など)を優先させるためにも英語はやっぱり日頃の努力が大切なのだと思っている。教科書を読み書き基礎英語の復習、ノート授業のくり返し、ワークの学習などやらなくてはならないことはたくさんあるが、時間はあまりとれなく、これからもうと自由時間が減っていくと思うので短い時間で内容の濃いものにしていく必要があると改めて感じた。そのためにも、授業の細かい所までしっかりと聞いてメモすること、単語帳を作ること、授業で分からなかった所を友達先生にすぐに聞くことなど、小さいことを積み重ねて、計画してやることが必要ではないと思



テストノートに貼って提出する

【問題分析】 例にならって、以下の各問いについて「下のネコ」は the cat under the table ので、まちがえないように気をつける。  
 <例> 12-① Taro ( goes ) to cram school です」にあたる is はその直後に来る。

【解説】 この文を見ると、文頭の主語と思われる Taro 助動詞や動詞が入ることが多いが、この文には動詞が入ることがわかる。そして、日本語の go が入るとわかる。ただし、主語が三人称単数 (he, you, do, subject, what) ?

12-② Jiro (studies) English every day

【解説】 この文を見ると、主語の後ろにくるはずの動詞がある。また「何の教科」と一つの言葉に比べると「勉強する」がぬけていることが後は Yes か No の疑問文と同じになる。が書いていないので、一般動詞の文であること like? となる。(注意: what do you like subject? 意味をもつ「study」が入る。しかし、主語が a, it's, bat, like) . てはない。)

12-③ (Does) Kumi practice kendo every day

【解説】 この文を見ると、日本語の和約や英語の文末を見るか、これは選択肢のため、ぬけているのが疑問を意味する言葉のでもなく、1つのわくにならぬ。 「ど」などのことが日本語の文章で書かれていない。答えは It's like a baseball bat. となる。か、一般動詞を使っていることになる。そして、一般動詞の疑問系であることがわかる。また、主語 at, eat, let's) .

12-④ Ms. Wada teaches science, but she likes reading books.

【解説】 この文は She ( ) teach math, という文に比べて、主語、動詞があるため、ふつうに文はなりたち。しかし、日本語の和約を見ると「教えます」ではなく「読んでいます」が、後につけて「Let's eat at that shop.」 or, you) ? ※コンマ (,) を1カ所

12-⑤ I (can't) draw pictures well. Japanese or science?

【解説】 この文は肯定文だが肯定文にあらずと、足りません。「どちらが好きですか?」という文に入るのは助動詞の「can」である。(主、この場合は like が動詞になるため、Be 詞であるため) しかし、これは否定文である。そのため、「do you like?」になり、疑念なので「can't」となる。(これは「can」に「not」をつけて「can't」になる。比較する時は or をつかない。(or は 2 以上を使う。)「Japanese or science,」 or ke, Japanese or science? とする。

第1学年 英語科 後期中間考査  
テストノート問題分析用紙

テストノートに  
貼って提出する

【問題分析】 例にならって、以下の各問いについて正解を書いてから問題分析を下さい。

<例> 12-① Taro ( goes ) to cram school every day. 毎日塾に通います。

【解説】

この文を見ると、文頭の主語と思われる Taro の後ろに空所がある。主語の後ろには助動詞や動詞が入ることが多いが、この文には動詞が見あたらない。したがって、空所には動詞が入ることがわかる。そして、日本語の意味には「通う」とあるので、ここには go が入るとわかる。ただし、主語が三人称単数なので、答えは goes となる。

12-② Jiro ( studies ) English every day 英語を毎日勉強します。

【解説】

これを見ると、主語の後ろにくるはずの動詞がぬけている。日本語と書かれている英語を比べると、「勉強する」がぬけていることが分かる。また、日本語の文に、「～です」が書いてないので、一般動詞の文であることが分かる。なので「勉強する」という意味をもつ「Study」が入る。しかし、主語が3人称の単数であるため、形がかわり、「y」を「ie」に変えて「s」をつける。なので答えは「Studies」となる。

12-③ ( Does ) Kumi practice kendo every day? 毎日剣道を練習しますか。

【解説】

これを見ると、日本語の和約や英語の文末を見ると疑問系になっていることが分かる。そのため、ぬけているのが疑問を意味する言葉だということ分かる。しかし、「何」や「どこ」などのことは日本語の文章で書かれていないため、疑問詞ではなく、Be動詞か、一般動詞を使っていることになる。そして日本語の文に、「～です」が書いていないため、一般動詞の疑問系であることが分かる。また、主語が3人称単数であるため、「Does」となる。

12-④ Ms. Wada teaches science, but she ( doesn't ) teach math. 数学は教えません。

【解説】

これを「She ( ) teach math」という文にして見ると、今のままでかゝらない状態だと主語、動詞があるため、ふつうに文はなりたち、彼女は数学を教えます、という文になる。しかし、日本語の和約を見ると「教えません」という否定文になっているため、ここには否定文の時に使う言葉が入る。また、「～ではありません」という文ではないため、一般動詞の文であることが分かる。また、主語が「She」なので三人称単数であるため「Doesn't」となる。

12-⑤ I ( can't ) draw pictures well. 上手に絵を描くことはできません。

【解説】

この文は否定文だが肯定文になおすと、足りないところが「出来る」となる。なので、ここに入るのは助動詞の「can」である。(主語と動詞の間に入るのは助動詞であるため)しかし、これは否定文であるため、canの否定型をいれる。なので答えは「can't」となる。(これは3人称単数形であったとしても形はかわらず、肯定文はcan、否定文はcan't、疑問文はcanである)

<例> 13-① テーブルの下にいるネコはタマです。 (the, the, table, is, under, cat) Tama.

The cat under the table is

Tama.

【解説】

「テーブルの下に」は under the table、「ネコ」は the cat とする。前置詞句で名詞を修飾する場合は後置修飾であるので、「テーブルの下のネコ」は the cat under the table となる。この語順は前回のテストにも出てきたので、まちがえないように気をつける。この部分が「～は」にあたる主語となるので、「～です」にあたる is はその直後に来る。

13-② あなたは何の教科が好きですか。 (like, you, do, subject, what)?

What subject do you like?

【解説】

まず、あなたは数学が好きですか、という。YesかNoかで答えることが出来る文を作る。すると、「Do you like math?」という文になる。しかし、これは好きな教科が分からないので「数学」というのをたずねるようにする。すると、math部分が分からなく和約に「何の」とかいてあるので「What」が来てはまり、最初になる。また「何の教科」と一つの言葉にまとまっているので「What subject」となる。その後はYesかNoの疑問文と同じになる。

そのため、答えは「What subject do you like?」となる。(注意:「What do you like subject」)

13-③ それは野球のバットのようです。 (baseball, a, it's, bat, like)

It's like a baseball bat.

【解説】

この選択肢を見ると、「It's」が (It is) 主語と動詞になっている。そのため、動詞だと「好き」や「好む」という意味をもつ「like」が動詞ではなく副詞になり、「～あつ」という意味になる。また、見落してはいけない(私がよくまちがえる)のは、これは選択肢があるから良い、野球のバットというの誰のものでもなく、1つの物になっている。単数であるため、「The」ではなく「A」となる。答えは「It's like a baseball bat.」

13-④ あの店で食べましょう。 (that, shop, at, eat, let's)

Let's eat at that shop.

【解説】

まず選択肢の「Let's」には「食べよう」という意味があり、何かをしようとする時に使われる。(Let us の省略)そして、まづ、「食べよう」と言いたいことを考えると、「Let's eat」という。また「あの店で」というのは、範囲が狭く、1点であるため、atが使われ、「at that shop」という。また、「Let's eat」で文は成り立ち、「at that shop」はつけたし情報なので後につけて、答えは「Let's eat at that shop.」

13-⑤ 国語と理科ではどちらが好きですか。

(Japanese, science, which, like, do, or, you)? ※コンマ(,)を1カ所

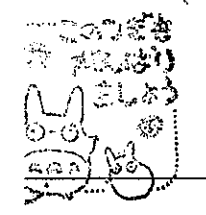
Which do you like, Japanese or science?

【解説】

このような文の時、英語は、2つに分けて考える。まず、「どちらが好きですか?」という文にする時、どちらかが「Which」、「好きですか?」というの likeが動詞になるため、Be動詞の疑問文ではなく一般動詞の疑問文である。そのため、「do you like?」になり疑問詞が前にくるため、「Which do you like?」となる。しかし、ここで文は成り立っていないため、コンマをつける。また「国語と理科では」と比較する時は or をつかい、(orは A or B とつかい、これは A と B が平等であるときに使う。)「Japanese or science」となる。これをくっつけて答えは、「Which do you like, Japanese or science?」

やる時間  
不安を感じる  
またテスト直  
ユギリユギリで  
ぶた。なの  
う間は少な  
いのだが  
英語は今  
りだったが  
思った。

ることが多  
うは、毎日  
読み書き  
学習など  
あまりと  
思うので短  
と改めて感  
謝してメモ  
所を友達  
? 計画して



No  
Date

<例> 14-① Ken plays soccer. [下線部を baseball に替えて「野球はやらない」に]

Ken doesn't play baseball.

[解説]

「野球はやらない」という日本語の意味から、この文を否定文にすればいいということがわかる。一般動詞の三人称単数現在の文の否定文を作るときは助動詞 doesn't を動詞の前に置く。そして、もはや動詞の語末にある s はいらない。soccer を baseball に替えることを忘れないようにする。

14-② Mr. Hosoda teaches Japanese. [下線部が不明で答えの中心となる疑問文に]

What does Mr. Hosoda teach?

[解説]

問題文の文を日本語にすると、「日本語を教える」という文になり、その国語が分からない。答えが国語を教えるという意味になるため、問うことは、「何を教えるのか?」ということなので、「何を」をつまみかきすればいい。文頭は「What」となる。またこの文の(問題文)動詞は teaches、なので一般動詞の文である。そのため、What の後に「does」を置く。(Mr. Hosoda が三人称単数なので does) その後は同じで答えは「What does Mr. Hosoda teach?」となる。(三人称単数で does に teaches の es がいったら「teach」になる。)

14-③ I play tennis at school. [下線部が不明で答えの中心となる疑問文に]

Where do you play tennis?

[解説]

問題文の文を日本語にすると、「学校でテニスをする」という文になる。しかし、その学校でというのが分からないため、問いたいの「どこで」である。そのため文頭には「Where」が来る。また元の文の動詞が Be 動詞ではないため、疑問文の where の後は do を置く。そして、元の文が I のため、You に変えてあとは同じにすればいい。答えは「Where do you play tennis?」となる。

14-④ This is Ken's pen. [下線部が不明で答えの中心となる疑問文に]

Whose pen is this?

[解説]

問題文の文を日本語にすると、「これはケンのペンです」という文になる。しかし、その「ケンの」というのが分からない。ここで注意すべきなのはここで問う、返ってくる答えが「ケンの」ではない。「ケンのペン」ではないといかない。この場合なら元の文は「Ken's pen」で「ケン」が主語である。そのため、問うべきなのは「誰のペンであるか?」ということ。そのため「谁的」という意味をもつ Whose と pen をあわせて文頭に出す。また、元の文が Be 動詞であるため、「is」を前に出し、this を後ろにする。その後は同じで答えは「Whose pen is this?」となる。

14-⑤ The yellow bag is mine. [下線部が不明で答えの中心となる疑問文に]

※選択肢が複数ある中で尋ねる文に

Which bag is yours?

[解説]

問題文の文を日本語にすると「その黄色いバッグは私のものです」という文になる。しかし、その「黄色い」というのが分からない。ここで問いたいの「どの(どの色の)があなたのバッグなのか」ということである。そのため「どの」にあてはまる「Which」になり、これも「Which bag」で「どこの」である。そして元の文が be 動詞なので同じように「is」になり、mine という所有代名詞を使っているため、疑問もあわせて「yours」を使う。なので答えは「Which bag is yours?」である。

17-① マクレイ先生 (Mr. MacRae) は英語とフランス語 (French) を話します。

Mr. MacRae speaks English and French.

[解説]

日本語の「～します」という表現から、現在の習慣を表す文を書くと考えられる。「話す」という動詞は speak, tell, talk などがあるが、「言語を話す」という場合は speak を用いる。ただし、主語が Mr. MacRae 一人なので、三人称単数現在の文と考えて動詞は speaks とする。そして対象の言語を「A と B」という場合は「A and B」と表す。

17-② あなたのお父さんはカレー (curry) を上手に料理することができますか。

Can your father cook curry well?

[解説]

まず、肯定文にして解いてみる。すると、日本語は「あなたのお父さんはカレーを上手に料理することができます」という文になり、出来るという文は can を使う。また、料理するは cook となり、上手は well となる。そのため、「Your father can cook curry well」となる。(主語が三人称単数なので動詞に s がつかないのは、助動詞の can の後は原形になるため。これを疑問形にするためには、can を前に出す。その後は同じ。そのため答えは「Can your father cook curry well?」となる。

17-③ 太郎 (Taro) は毎朝、川の近くで彼の犬を散歩させます。

Taro walks his dog near the river every morning?

[解説]

まず、単語ずつ考えていく。まず、動詞である「散歩する」という意味をもつ英語は「walk」であるが、主語が三人称単数であるため、後ろに s をつける。なので「walks」となる。また「毎朝」というのは「every morning」で「川の近く」というのは「near the river」となり、「彼の犬は」というのは「his dog」となる。そして、つけたし情報をかき、太郎は彼の犬を散歩させます。という文にすると、「Taro walks his dog」となる。ここで注意するのはつけたし情報を並べるとき、場所→時間の順にならねばならない。なので答えは「Taro walks

his dog near the river every morning?」となる。